

## 【基本方針】

『ご利用者様の様々なニーズに対応できるデイサービス』

## 【年間目標】

- ① 年間平均利用者数40.0名以上を目指す。※1日登録者数を50名以上のキープ。
- ② 平成28年制度改正を踏まえた業務体制・環境・衛生管理等の整備を行い、ご利用者様及びご家族様の様々なニーズに対応する。
- ③ ご本人様やご家族様、担当ケアマネジャー様との信頼関係をより一層深める。
- ④ スタッフの接遇技術や介護技術、衛生管理能力の向上を図り、良質なサービスを提供する。
- ⑤ 削減可能或いは減少可能な経費の削減を目指す。

## 【実践計画】

- ① 年間平均利用者数40.0名以上名以上を目指す。※1日登録者数を50名以上のキープ。
- 平成28年度も新規ご利用者様の獲得に向けての取り組みを実施。
  - ・ 居宅介護支援事業所及びあんしんすこやかセンターへの、現在の空き状況の案内やチラシ、デイサービス単独での広報誌やパンフレットの作成を行い、定期的に営業を実施し、デイサービス内で行っている事や取り組んでいる事の実績を知っていただく。※担当者会議出席時や面談、契約時等に介護支援専門員様とお会いできる際に、配布を行う。
  - ・ 目標平均利用者数の達成・維持を職員一同が意識し、職員一人一人が広告塔である事を意識し、役割を担う。尚職員一人一人が稼働状況を把握出来る様、定期的に稼働状況の伝達や収益等の収支率を理解する。
  - ・ 現在登録者様へのより一層の顧客満足度の向上を目指し、定期的に顧客満足度調査の収集集計、お便りによる挨拶、ご利用中の傾聴等を実践する。利用日の追加希望を頂けるよう努力し、常連様をより多く獲得する。
  - ・ 体験ご利用者様を確実に本利用に繋げられるよう、体験ご利用者様の対応マニュアルや、体験終了後の追跡調査（体験終了後に顔写真入りのお便りをお渡しする事等）を実施する。

- ② 平成28年制度改正を踏まえた業務体制・環境・衛生管理等の整備を行い、ご利用者様及びご家族様の様々なニーズに対応する。
- 要介護3以上の重度者様の受け入れ体制（職員及び業務手順の修正※午後浴や延食対応等の実施、スタッフの補充、静養ベッドの補充、看護職の充実等）を充実させ、平均受け入れ要介護度を2後半から3程度に推移させる。※中重度者ケア体制加算の取得を目指す。
- 自立支援に向けての取り組み
  - ・ リハビリ（機能訓練）ニーズに答える事が出来るよう職員体制（機能訓練指導員※看護職員、マッサージ師等の必置）業務手順の改善、環境の充実（機能訓練指導に際する設備の整備）改善は図り、個別機能訓練計画（通所介護計画書含）の立案・実施評価体制を確立する。

※個別機能訓練加算Ⅱの取得を目指す。

- 全てのご利用者様が楽しむ事が出来、生活の質の向上を目指す事が出来る活動を提供する。
  - ・ 男性が退屈しないレクリエーション（将棋、囲碁、マーじゃん、パチンコ等）や作業療法（読書、写経、書道、絵画等）を実施する。
  - ・ 個別活動として継続性のあるレクリエーション（手芸、パズル、公文、絵手紙、写経、習字、絵画等）を行う。※個別のレクリエーションファイル等を作成し、ご利用者様が分かりやすく自由に作業に取り組む事が出来るよう工夫する。尚出来上がった作品は定期的にホワイトボードに掲示し、自由に閲覧出来る機会を持つ。
  - ・ クラブ活動（おやつクラブ、習字クラブ、生花クラブ、茶道クラブ等）を考案し、グループ単位による活動を定期的に行う。※他者との交流機会にも繋がり、社会性の維持向上及び認知症予防にも繋がる。
  - ・ リラクゼーション（手浴、足浴、ハンドマッサージ、タクティールケア（触れる）、ユマニチュードケア（寄り添う）等）を実践する機会を持ち、触れ合う事での信頼関係の構築及びリラクゼーションの時間を設ける。
  - ・ 整容管理（爪切り、化粧、髪結い等）を強化する期間を定め、ご利用者様の整容面及び衛生面の充実を図る。
- 季節感のある行事、レクリエーションとお食事を楽しんでいただく。

	行事	食事
4月	お花見	お花見弁当
5月	紫陽花会、母の日	バイキング、新茶
6月	梅酒作り、父の日	おやつバイキング
7月	七夕、土用丑の日、暑中見舞い	流しそうめん
8月	夏祭り、花火	屋台
9月	敬老祝賀会、防災の日	お祝い膳
10月	運動会、ハロウィン	さんま
11月	秋の遠足	おやつバイキング

12月	クリスマス会、お餅つき	クリスマス料理
1月	初詣、新年会	鍋料理、七草
2月	節分、バレンタインデー	巻き寿司、チョコレート
3月	ひな祭り、ホワイトデー	いかなご

- ③ ご本人様やご家族様、担当ケアマネジャー様との信頼関係をより一層深める。
- ・ ご利用状況や変化等都度及び定期的に情報を報告し、お互いの情報交換を密に図る事で、信頼関係を深めていく。
  - ・ ご本人様やご家族様向けのお便りや広報誌、誕生日等の写真の配布や1ヶ月毎の報告書の作成、配布を行う。その他ご利用者様お一人お一人のアルバム（写真）を作成する。
  - ・ 送迎時や外部対応を行う際には、真摯な対応にて元気に挨拶を行う。※送迎時には、ご本人様以外にご家族様のご様子や、独居の方はご自宅の状況（環境等）の変化を観察し、異変があれば関係機関との“ほうれんそう”を実施する。
  - ・ ご利用者様の利用時の健康状態や精神状態の観察を十分に実施し、その日の状態に応じた介護介助を実施し、尚寄り添う介護、傾聴等による精神的安定を図れるよう努める。
- ④ スタッフの接遇技術や介護技術、衛生管理能力の向上を図り、良質なサービスを提供する。
- ・ 定期的に職員研修や勉強会、介護情報の提供機会を設ける。（※介護職員の倫理と責務、介護技術、接遇、衛生管理、救急対応、事故発生時対応、認知症対応、記録方法、口腔ケア、身体拘束と虐待、ターミナルケア、高齢者疾患についての理解等）
  - ・ 効率的に良質なサービスが提供出来るよう職員の業務手順についても適宜改善を図る。
  - ・ 職員がご利用者様に関わる際の信条等の考えを考案し、職員のご利用者様に対する接遇面の強化を行い、信条に順ずる動きにて介護力の向上及び職員の就労満足度の向上（仕事への取り組み姿勢の変化、やる気の向上、達成感等を感じることが出来る等）も目指す。
- ⑤ 削減可能或いは減少可能な経費の削減を目指す。
- ・ 紙ベースの削減（※両面コピー、白黒2色印刷、損失がないよう確認後印刷等）
  - ・ 物品関係を丁寧に取り扱い、損失がないよう努める。
  - ・ ご利用者様ケースファイルの台紙等は、利用中止者ファイルと入れ替えにて回転させ、再利用を徹底する。（その他ファイル関係も同様）
  - ・ 情報管理上問題のない紙ベースはメモ紙の代用品とする。
  - ・ 節電を徹底し、帰社時には、可能なコンセント関係は抜いておく。
  - ・ 残業は出来るだけ削減し、早めの消灯を心掛ける。

平成28年度 デイサービス塩屋 平均利用者数 (目標)

平成28年度 デイサービス塩屋 平均利用者数(目標)

月	日数	延日数	利用者数	延利用者数	月平均	延平均
4	30	30	1200	1200	40,000	40,000
5	31	61	1250	2450	42,000	41,000
6	30	91	1200	3650	40,000	40,000
7	31	122	1250	4900	42,000	41,000
8	31	153	1250	6150	42,000	41,000
9	30	183	1200	7350	40,000	41,000
10	31	214	1250	8600	42,000	41,000
11	30	244	1200	9800	40,000	40,000
12	31	275	1250	11050	42,000	41,000
1	28	303	1100	12150	39,000	40,000
2	28	331	1100	13250	39,000	40,000
3	31	362	1250	14500	42,000	40,000

	月	火	水	木	金	土	日	出席率	利用予測
登録者目標数	50	50	50	50	50	45	35	0,90	42,00
想定実利用者数	45	45	45	45	45	40	30		

以上